

事業報告書

団体名：特定非営利活動法人亀岡子育てネットワーク

1. 事業名	0・1・2・3歳親子 room COCOいく						
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)						
【事業期間：4月1日～3月31日】							
くらす	開催日数	開催時間	延べ参加人数	参加費	内容	場所	
はじめてくらす (ベビーマッサージ)	1カ半月～はいはいするまで	10回 (月1回木曜)	10時～11時半	101組 (202人)	1200円	助産師によるベビーマッサージ。ママのティータイム。交流。	ふらっとHOUSE
コアラクらす (子育てママトーク)	2カ月～6カ月	7回	10時半～11時半	28組 (56人)	500円	子育てで不安に思っていることや疑問に思っていることの解消、おもちゃや絵本の紹介、交流	
プチこぶたくらす	4カ月～6カ月ぐらい	5回 (9月～開始月1回月曜)	10時～11時半	48組 (96人)	1000円	【10時～11時】 親子のふれあいあそび、てあそび、リズムあそび、運動あそび、ママのストレッチ	
こぶたくらす	7カ月～9か月ぐらい	10回 (月1回月曜)	10時～11時半	94組 (188人)	1000円	クッキング、季節の歌、季節の製作、手作りおもちゃ、絵本の読み聞かせなど	
たぬきくらす	10カ月～1歳ぐらい	10回 (月1回月曜)	10時～11時半	65組 (130人)	1000円	【11時～11時半】 子育てのお話し、ママのティータイム、子どもの成長の記録(アルバム)作り、ママ同士の交流、悩み相談など	
きつねくらす	1歳1カ月～1歳3カ月ぐらい	8回 (月1回月曜)	10時～11時半	33組 (66人)	1000円		
ねこくらす	1歳4カ月～2歳ぐらい	10回 (月1回月曜)	10時～11時半	52組 (104人)	1000円		
ドキはぴくらす	2歳～就園前	17回 第1・第3火曜	10時～12時	202人	1000円	4、5月の親子体験後、6月からは子どもだけの活動。3月1日は親子でのおたのしみ会。リズムあそび(歌・楽器)、運動あそび、えのぐあそび、新聞あそび、表現あそび、絵本の読み聞かせなど	旧一の宮幼稚園
特別講座	救急救命のおはなし講座 (保育付き)	2回 (10/23、1/29)	10時～11時半	18組 (36人)	500円	亀岡消防署救急救命士による乳幼児のけがや病気の話や対処方法についての講座	ふらっとHOUSE
	歯のおはなし講座	2回 (11/24、2/26)	10時～11時半	18組 (36人)	500円	歯科衛生士による子どもの歯の話や、母親の歯のケア等の話。参加の子どもの歯のチェック、質疑応答、交流	
計		81回		1,116人			

【主旨】

現在亀岡において、家庭で子育てしている親子は、自由に遊びに行ける「ひろば」や地域に根ざした「サークル」、一時保育のある施設を利用でき、10数年前に比べるととても子育てしやすい環境になってきている。しかし、出産から乳幼児期にかけ、子育て期特有の孤独と不安を感じている人が多い。また、社会の変化に伴うメディアや電子機器の影響を多数受け、大切な親と子どもの本当のふれあいが希薄になってきていると感じる。これらは、年々増加傾向にある核家族の家庭において、祖父母や近所のおせっかいなおばさんなどから昔ながらの子育てのノウハウを教わる機会が減少したり、気軽に話せたり聞いたりできる機会を持ちにくいことや、情報化社会ゆえの情報の氾濫が原因と考えられる。また、私たち亀岡子育てネットワークでの他事業「ゆりかごひろば」「講座」「一時保育」等で、親子と数多く関わるうち、育児書やメディアから与えられるいろいろな情報ではなく、その子どもに合った子育てのノウハウを伝えるべきではないかと考えた。また、ひろば等で悩みや相談を受ける中で、これからの課題は、母親の心の安定をはかり、子育てが「つらい」だけではなく「楽しい」と感じられるよう、そして少しでも孤独感や不安感を減らし、笑顔を増やし、一人一人の親が力をつけていけるようフォローして行くことが必要なのではないかと考えた。

【内容】

そこで、この“COCO いく”では、前年度同様、生後1ヵ月半から参加できるベビーマッサージ講座に始まり、生後4ヵ月から保育所（園）幼稚園へ入園するまでの親子には、その子どもの月齢によってクラス分けを設定した。今年度はより参加しやすいように月齢の分け方を工夫してクラス数を増やした。各クラスで、月齢や発達に合わせて親子が自然にふれあうことできるあそびを通して親子の愛着形成を促し、また、子育てのノウハウを伝えることで子育て期の不安や大変さを乗り越え、子育てが楽しいと思えるように導いていけることを目的とした。また今年度は新たに、参加費の負担を軽くした「コアラクらす」を追加し、「どこにでかけようか?」「私の赤ちゃんのお世話は間違っていない?」「みんなはどうしているの?」と母親が子どもとの生活で不安に思っていることや悩んでいることを気軽に聞ける場を設け、まず外に出かけるきっかけとなるようなクラスを設定した。

全てのクラスにおいて、母親の心の安定が子どもに大きく影響することをふまえ、母親が他の参加者やスタッフとコミュニケーションをとるうちに心が安定し、子育ての孤独感や不安感を減らし、親子の愛着が深まような内容とした。また、それぞれの子どもの特性を認め、その子どもが本来持っている力を自然に引き出せるよう工夫する内容とした。

3. 成果

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

【はじめてくらす（ベビーマッサージ）】 生後1ヵ月～はいはいするまで

チラシや亀岡市発行の広報を見て参加される方が多く、産後初めてこういった場に出かける方や、一人で参加される方が多かった。子育てに戸惑いと不安を持っている方も多く、産後の早い段階から母親が外に出て人と交流するきっかけを作ることができたり、助産師から産後の母親の体の話や赤ちゃんのお世話について話を聞くことができ、孤独や不安をやわらげることができたことは大きな成果といえる。また、母親同士が知り合いになれるきっかけとなったことも大きな成果だろう。

【コアラクらす (子育て Mama トーク)】 生後 2 ヶ月～6 ヶ月ぐらい

今年度、新たに始まったクラスで、母親が気軽に外出できるきっかけとなるよう参加費を 500 円に設定した、参加者の多くは、子育てで不安に思っていることや疑問に思っていることや、赤ちゃんとの毎日の生活をどう過ごしたらいいかなどを気軽に聞けたり、参加者同士が交流でき、次への外出のきっかけとなった。

【プチこぶたくらす】 生後 4 ヶ月～6 ヶ月ぐらい

【こぶたくらす】 生後 7 ヶ月～9 ヶ月ぐらい

【たぬきくらす】 生後 10 ヶ月～1 歳ぐらい

【きつねくらす】 生後 1 歳 1 ヶ月～1 歳 3 ヶ月ぐらい

【ねこくらす】 生後 1 歳 4 ヶ月～2 歳

今年度、特に 1 歳までの参加者が多く、急きよ、【プチこぶたくらす】を増やして対応したが、キャンセル待ちがでるほどの反響であった。どのクラスも、一人で参加される方が多く、子育てに不安を持って参加される方が多くみられた。心と体が緊張している方も多く、子どもの体に自然に触れられるよう親子での遊びを通して「赤ちゃんをまるく『ギュッと』抱きしめる」「目を見つめ合ってあそぶ」「目を見て話しかける」「抱っこしてゆれる」「声をかける」ことを具体的に、くり返し伝えられるよう工夫していった。また、参加者同士やスタッフと交流ができるよう設定した。

その結果、緊張気味の母親の表情も少しずつ変化し、とてもやわらかな笑顔が見られるようになってきた。スタッフや他の参加者と会話をするうちに、心の緊張もほぐれ、楽しんで子どもとふれあい遊びをすることができるようになり、心が安定し、孤独や不安の解消へとつながったと考えられる。また、それぞれの子どものちょうどその時期の成長や、子どもの発達や行動の意味、遊びがもつ意味を伝えることで、子育てのコツをつかんだり、あせらず楽しみながら子どもの次のステップへのお手伝いができるようになっていったと考える。そして、母親が子どもとふれあうことを楽しむことにより、子どもも母親の目を見つめほほえみ、そしてまた、その子どものほほえみを見て母親がほほえむといった相互作用で、お互いの見つめ合いが親子の愛着形成において、よりよい方向へとつながっていった。毎回、子どもの成長の記録や子育てのヒント、季節の歌のプリントなどを綴ったアルバムを作成していった。その中で、参加中の親子の笑顔の写真を毎回プレゼントしアルバムに貼っていくことで、母親は自分の笑顔と子どもの成長をととても喜び好評であった。

参加当初は子育てが「しんどい……」「つらい……」と訴えていた方にも笑顔が増え、元気な様子になっていき、子育てが「つらい」だけのものではなく「楽しい」と感じられるようになったことは大きな成果といえる。また、少しずつ子育てに自信を持ち始めた様子もうかがえ、次への出産へとつながっていったと考えられる。

【ドキはびくらす】 2 歳～未就園児

初めて「親子が離れる」という参加者が多く、親子共々不安な様子だった為、その不安を少しでも解消できるよう保護者に対しても、子どもに対しても、一人一人丁寧に対応していった。また、子どもができるだけ遊びの中でいろいろな経験ができるよう設定し、また一人一人の遊びを大事にしながら、友達同士の関わりが持てるよう配慮した。

その結果、親子共々、回を重ねるごとに笑顔が増え、遊びを通じていろいろな体験をすることができた。また友達も認められるようになり、友達とのやりとりの中で、一緒に遊ぶ楽しさを感じることができるようになったり、子どもの自立を促したことで、これからの保育所(園)や幼稚園に入園する準備段階として、

大きな心身の成長となったと感じる。また、保護者にとっては、子どもと離れた2時間を思い思いに過ごされているようで、月に2回のこの時間を計画的に、有意義に過ごし、リフレッシュの機会となったようだ。

【救急救命のおはなし講座】

子育て中には誰もが不安に思っているにも関わらず、なかなか詳しくは聞く機会がない乳幼児の頃におこりうる家庭での病気や急なケガの話やその対処方法を、救急救命士さんから教わった。「こんな時どうしたらいいのだろう」と不安に思っていることをじっくり聞くことができ、質疑応答の時間は大変多くの質問が出された。なごやかな雰囲気の中で、具体的にわかりやすく教わったので、いざという時に少しでも慌てず対処できるようになると感じた。また、この講座は保育付きだった為、ゆっくり話を聞くことができ、参加者同士もゆったりと交流できた。

【歯のおはなし講座】

歯がはえ始めたり、そろそろ歯がはえる時期になると、「どうしたらいいか」不安に思い悩むことが多いが、歯科衛生士さんに教わることで、その悩みも解消できる内容となった。また、子どもと共に母親の歯のケアの大切さも教わり、産後、子どものことばかりを優先させてしまう母親にとって「自分」の大切さも伝わった。

また、子ども一人一人の歯のチェックをしてもらうことで、一人一人の相談に応じてもらうことができ、より一層安心へとつながった。

【全体】

子育て中の一番の悩み「こんな時はどうしたらいいのだろうか?」「このやり方で間違っていないのかな?」「みんなどうしているの?」そう思った時にすぐに誰かに相談できるのが一番安心するものだが、現在が一番頼りにしたい祖父母が近くにいなかったり、また引っ越してきて知り合いが少ない者にとって、その「相談」や「聞きたいことが聞ける」環境が整っていない。そこで、この「COCO いく」のように、月齢別にクラスが設定されていることで、「今、私が行くべきクラス」と簡単に理解でき、気軽に参加し、その「ちょっと聞きたいこと」を聞くことができたり、「分からなかったこと」を知ることができたと考える。そして、この地域で子育てをしている「自分一人ではない」「地域の人がいる」「地域の中にいる」と思える場ができることで、子育ての安心、自信へとつながっていくと考えられる。そして親として、一人の人としての自信を身につけ、子どもとの生活の楽しさを味わうことができてきたと考える。

「COCOいく」では、生後1ヵ月半から保育所(園)・幼稚園へ入園するまで、家庭で子育てをしている親子を心身共にフォローできる場として大切な事業となってきた。初めて親となった母親は「ちゃんと育てなければ」と思いがちで、片意地貼ったり頑張りすぎたりすることがあるが、「子育て」は無理せず頑張りすぎず、ちょっとしたことなら「まあいっか」と笑顔で過ごせ、「子育て」を少しでも楽しむことができるよう働きかけていった。また、「母親が笑顔になると子どもも笑顔になる」「母親が楽しいと子どもも楽しくなる」ことを伝えたことで、まずは母親が毎日を元気に笑顔で過ごせることの大切さを知ることができたと考える。

「COCOいく」に参加した親子が当団体の他事業である、「ゆりかごひろば(千歳町)」「ゆりかごひろば 亀岡駅前(ふらっとHOUSE)」「一時保育 りとつぽ」を利用することも多くみられ、子育て中の人にとって、より地域とつながることができたことは、当団体が複合的な事業を行っていることで大きな効果があったと考える。

また、亀岡市の乳幼児4ヵ月健診や11ヵ月健診などでチラシを配布させていただいたり、亀岡市の広報「キラリ☆かめおか」へ毎回掲載していただいたことで、多くの参加者につながったと考える。公的なところで広報できたことで、本当に情報が必要な方に周知できたり、産後「出かけたがたい」と思った母親にとって安心して参加を申し込める場となったと考えられる。

全体を通して、子どもの心の安定はもちろん、母親の心の安定を図り、「不安」を「自信」へ変えていくことができ、つらくなりがちな乳児期の子育てを楽しむことができるようになったと考える。その結果、親子の愛着形成を促し、親も子も明日への力を身につけていくことができたと考える。今後も、こういった親子が育つ場が必要だと考え、来年度も引き続き開催していく予定である。そして、現在の母親のニーズに応えながら、常に母親に寄り添える場になるよう努めていきつつも「大切なこと」「伝えたいこと」「伝えなければならないこと」を伝えていける場としていきたい。そして、一人一人の親が力をつけていける場であるよう努めていきたい。

4. 協働の効果

※市民連携事業・行政連携事業のみご記入ください。
事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。

5. 今後の展開

事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。

本事業を3年間実施し、子育て中の母親が不安や孤独を解消し、子育てを少しでも楽しむことができ、親として自信を持っていくための場所を作り上げていくことができたと感じる。今年度も、キャンセル待ちの状態が多くあった為、来年度はクラス分けなど日程や内容を調整をしていきたい。また、子どもの体調や母親の体調不良により、当日キャンセルされる方も多く、参加費収入が不安定であり、継続するには費用的な面が大きな問題となるが、今後も必要な事業として考えている為、現在の形で継続していく予定である。しかし、自主事業として継続するためには、参加者の負担が必要となり、金銭的な面で参加しにくい方がいると考えられる。親として子育て力をつけ自信を持って子育てができるようになるこのような講座を定期的に開催し、より多くの方がいつでも安心して参加できることが望ましい。

また、乳幼児期からの親子のかかわりの深さが、今後、子どもが大きくなり、小学生、中学生と成長し、思春期の不安定な時期に親子が向き合える為に大きく影響することを考えると、今この乳幼児期に「不安や悩みを解消できる場」「聞きたいことが聞ける場」「教えてほしいと言える場」「助けてと言える場」の環境を整えることが、家庭で子育てしている親子の支援を充実させることの一つと考える。そういったことを踏まえ、亀岡の子育て環境の改善にむけて、亀岡市の子育て支援制度として取り組まれることを期待している。来年度以降、この3年間で培った内容をさらに充実させ取り組んでいきたい。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。